

2016年10月27日

株式会社 Diverse

株式会社 Diverse は「work with Pride 2016」にて 『PRIDE 指標』ゴールドを獲得いたしました

株式会社 Diverse（東京都渋谷区、代表取締役社長：津元 啓史）は、2016年10月26日に行われた「work with Pride 2016」にて、企業の LGBT の取り組みに対するの評価制度である『PRIDE 指標』において、最高ランクである**ゴールド**を獲得しました。



「work with Pride 2016」とは

「work with Pride」は、企業などの団体において、LGBT すなわちレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。「企業等の枠組みを超えて LGBT が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ことを目的としています。「work with Pride 2016」は当団体の開催しているセミナーで、今年から『PRIDE 指標』による企業の表彰を行う流れとなりました。

補足) 「work with Pride」公式サイト：<http://www.workwithpride.jp/>

『PRIDE 指標』とは

「work with Pride」の定めた、日本で初めての企業の性的マイノリティに関する取り組みの評価指

Diverse

標です。1. Policy (行動宣言)、2. Representation (当事者コミュニティ)、3. Inspiration (啓発活動)、4. Development (人事制度・プログラム)、5. Engagement (社会貢献・渉外活動)の5つの指標の頭文字からとり、『PRIDE 指標』となっています。各項目1点とし、5点獲得企業・団体はゴールド、4点獲得企業・団体はシルバー、3点獲得企業・団体はブロンズとして評価されます。

補足)『PRIDE 指標』について：<http://www.workwithpride.jp/pride.html>

株式会社 Diverse (ダイバース) の LGBT に対する取り組み

当社の LGBT に対する取り組みは、いち従業員のカミングアウトがきっかけとしてはじまりました。2014年5月最初の取り組みとして、経営陣に正しく LGBT を理解してもらうために NPO 法人虹色ダイバーシティの協力の下に研修を行いました。その後全社員が研修を受け、現時点での受講率は100%となっています。

同年7月、「第23回 東京国際レズビアン & ゲイ映画祭」への協賛活動を行いました。[\(「あなたがいるから、世界が色づく」協賛ムービーの提供\)](#)



翌8月には社内規定を見直し、慶弔休暇や婚姻に関する福利厚生の対象を事実婚を含むパートナー関係まで広げました。また、社員行動規範の差別に関する項目に、新たに「性的指向・性表現」を追加しました。人事部による「GIDガイドライン」の作成を行い、LGBT 研修開催時に周知を行っています。同時期から新入社員に対する LGBT 研修の受講を必須とし、2015年4月以降は Diverse 主催でミクシィグループの有志も参加可能な LGBT 研修を毎月行っています。

このような取り組みが評価され、「work with Pride 2016」においてゴールドを獲得することができました。当社の社名の Diverse の由来は、『Diversity & Inclusion (多様性と包括性のある社会)』です。今後も企業としての社会的責任を果たし、Diversity & Inclusion としての取り組みを続けてまいります。

■株式会社 Diverse < diverse-inc.co.jp >

株式会社 Diverse は、結婚支援を中心に、友達・恋人探し支援、趣向に特化したコミュニティを応援する SNS サービス等、様々な出会いのプラットフォームを提供しています。

また人間の「恋・愛・人生」をより深く掘り下げる恋愛メディアを運営し多角的に事業展開することで深刻化する少子高齢化社会に本質的な目線で新しいサービスを提供できるよう日々、取り組んでいます。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社 Diverse マーケティング室広報グループ

【E-mail】 pr@diverse-inc.com

【住所】 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目 12-4 ネクストサイト渋谷ビル 3 階

【WEB】 Diverse コーポレートサイト < diverse-inc.co.jp >

【BLOG】 Diverse 公式ブログ < diverse.blog.jp >
